

目薬の使い方

1 上向きにだっこして

小さなお子様の場合、目薬を怖がる場合が多く、目をつぶってしまったり、首を振ることがあります。点眼をする方が床に座って、お子様を膝の間に上向きに寝かせます。お子様の頭を固定し、顔を見ながら、下瞼を軽く引いて、目を開け点眼して下さい。その後少しの間、目をつぶるようにしてください。目のまわりについての点眼液は清潔なタオルやティッシュで拭いてあげてください。



2 上を向いて



お子様と向かい合い、上を向いてもらいます。片手で下瞼を軽く引いて、目を開け点眼してください。少しの間（できれば数分）、目をつぶるようにしてください。目のまわりについての点眼液は清潔なタオルやティッシュで拭いてあげてください。

3 まつげやまぶたに触れないようにしよう

まつげは目を埃等から守る大事な器官ですが、目薬をさすとき、点眼瓶の先にまつげが触れると、まつげに付いた汚れ（細菌）が瓶に入り、薬液の汚染の原因になります。

点眼時はまつげやまぶたに触れないように注意しましょう。

4 点眼に関して

点眼の前には必ず手を洗ってください。清潔なタオル・ティッシュも用意します。

目薬は1滴で十分です。何滴もささないとつけた気がしないと言う方もいますが、どれほど目の大きい人でも2滴であふれてしまいます。2種類以上使用する場合は5分程度間隔をあけることも大切です。また、むやみにさしたりせず、点眼回数を守るようにしましょう。

点眼後は、お子様が手で目をこすらないようにしてください。



5 保存法と期限

目薬はとても清潔に扱わなくてはならないお薬です。使用期限を守りましょう。薬により冷所保存の指示や溶解後の使用期限のあるものもあります。

薬液中の菌による汚染を防ぐため、使用開始後はできるだけ冷所に保存し、時間が経ったら使用を控えましょう。

6 目薬の共用について

家族といえ、目薬を共用するのは避けましょう。

